

# 11月11日は 公共建築の日

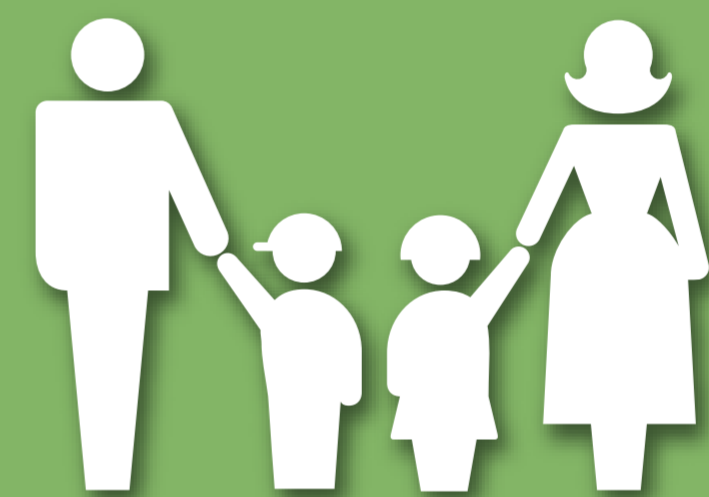
公共建築が、国民生活に一層密着したより良いものとなることを目指しています。

建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと国会議事堂の完成(昭和11年11月)などから、11月11日が「公共建築の日」となりました。

そして11月は「公共建築月間」です。

シンポジウムをはじめさまざまな行事を実施いたします。

<https://www.pbaweb.jp>



庁舎、県庁舎、市庁舎、町・村役場、警察署、消防署、保健所、税務署、公共職業安定所(ハローワーク)、研究所、会議場など



図書館、美術館、博物館、資料館、記念館、市民ホール、音楽ホール、公園、動物園、植物園、水族館など



幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学、病院、体育館、武道館、老人ホーム、公民館、青年の家、保養所、駅、自転車駐輪場など

主催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」実行委員会

〔(一社)公共建築協会 (一財)建築保全センター (一財)建築コスト管理システム研究所 (一社)文教施設協会〕

後援：国土交通省 文部科学省 法務省 全国知事会 全国市長会 全国町村会

(予定) (一社)日本建築学会 (公社)日本建築家協会 (公社)日本建築士会連合会 (一社)日本建築士事務所協会連合会

(一社)日本建設業連合会 (一社)全国建設業協会 (一社)日本電設工業協会

(一社)日本空調衛生工事業協会 (公社)空気調和・衛生工学会 (一社)電気設備学会

(一社)日本設備設計事務所協会連合会 (一社)建築設備技術者協会 (一社)建設電気技術協会

日本経済新聞社 日刊建設工業新聞社 日刊建設通信新聞社 日刊木材新聞社

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ウッド・チェンジ

木づかいが 森をよくする 暮らしを変える

ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造化・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

# 「公共建築の日」及び「公共建築月間」イベント

## 巡回建築パネル展

公共建築は、人々の生活に密接な関わりを持ち、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成等を図るうえでも重要な役割を担っています。

また近年、地域との連携を図りながら、公共建築の整備や運営のあり方を考えるべきという気運が高まっています。このような状況を踏まえ、関係機関が幅広く協力し、広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層、生活に密着したより良い公共建築を目指していきたいという考えのもと、「**公共建築の日**」及び「**公共建築月間**」が創設されました。

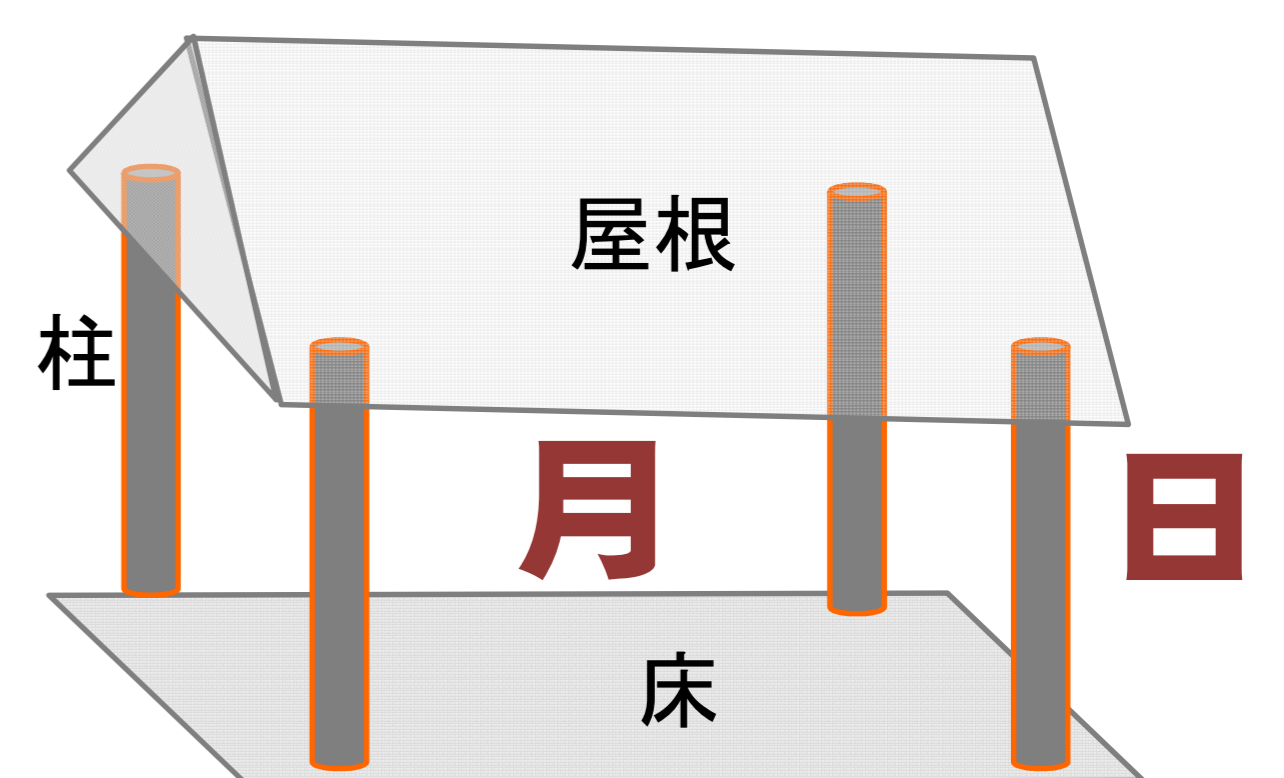
### ～「公共建築の日」及び「公共建築月間」とは？～

建築の基本的な構造を象徴する4本の柱のイメージと、国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから

**11月11日**が「**公共建築の日**」となりました。

そして、公共建築の日をふくむ

**11月**を「**公共建築月間**」と呼びます。



この「巡回建築パネル展」は、関係機関が取り組む公共建築関連の事業について紹介するものです。

このパネル展が、皆様にとって公共建築への関心と親しみをもつ良い機会になりましたなら幸いです。

主催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベント実行委員会

【構成機関（50音順）：（一社）建築設備技術者協会、（一社）公共建築協会、（公社）日本建築家協会、（一社）日本建築構造技術者協会、（公社）日本建築積算協会】

共催：「公共建築の日」及び「公共建築月間」東北地方協力支援会議

【構成機関：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東北地方整備局】

# 身近な建築環境・設備の専門家集団

## 一般社団法人 建築設備技術者協会

「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベント実行委員会

### レジリエントでサステナブルな社会の実現にむけて

建築設備は健康で快適、安心・安全な暮らしをつくります。建築環境を支える建築設備技術者は常に、より安心で持続可能な暮らしを実現する為に努力を重ねています。

当協会は、建築設備を通じて、レジリエントでサステナブルな社会の実現に貢献します。

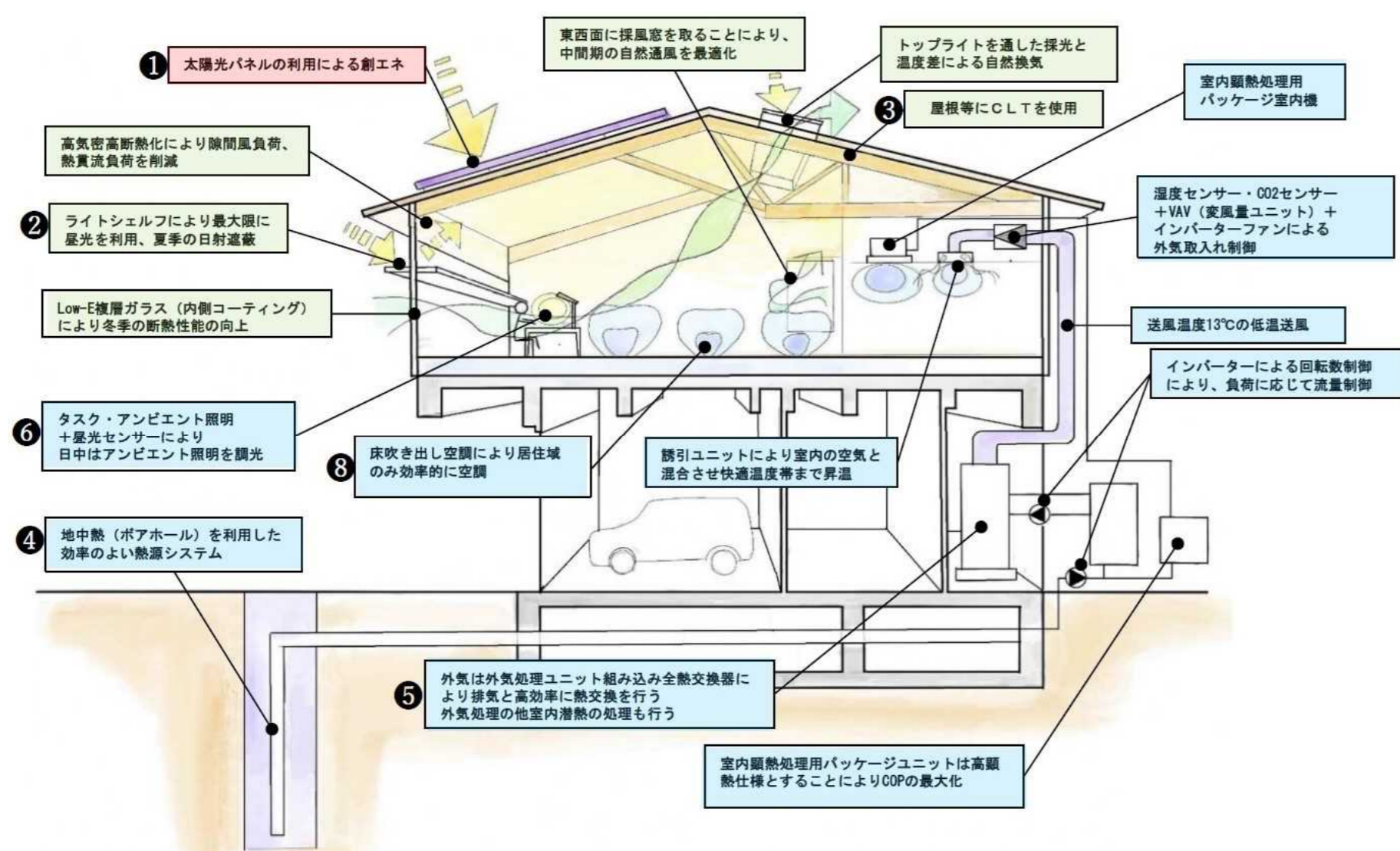
### 建築設備技術者協会とは

建築士法に基づく国家資格者「**建築設備士**」、「**設備設計一級建築士**」

および「**空気調和・衛生工学会設備士**」を中心とした高度な専門家の職能団体です。

### 建築設備技術者協会東北支部の活動

#### ●カーボンニュートラル賞 第10回授賞：福島県須賀川土木事務所



#### ●技術研修会の開催〔空気調和・衛生工学会東北支部と共同主催〕

##### ✓ スタートアップ技術研修会〔対面・リモート講演併用〕

日時：2022年11月8日（火）～11月11日（金） 9:50～17:10

開催場所：宮城県管工事会館

##### ✓ プライマリ技術研修会〔対面・リモート講演併用〕

日時：2022年12月20日（火）～12月23日（金） 9:50～17:10

開催場所：宮城県管工事会館

##### ✓ セカンダリ技術研修会〔対面・リモート講演併用〕

カーボンニュートラルを標榜した建築・設備と環境・エネルギー・政策等

日時：2023年1月24日（火）～1月25日（水） 9:50～17:10

開催場所：宮城県管工事会館

#### ●設備女子会の活動

福島県須賀川土木事務所&須賀川市役所見学会と建設関連女子会等との交流会

日程：2022年10月17日（月）

#### ●建築設備士の日 記念行事〔対面・リモート講演併用〕

建築・設備と関連業界での女性活躍を目指して

日程：2022年12月2日（金） 13:00～17:00

開催場所：宮城県管工事会館

※ 技術研修会、見学会等の行事は どなたでも参加できます

詳しくは当協会のホームページをご覧ください



# 公共建築の未来を見つめて

## 一般社団法人 公共建築協会(PBA)

「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベント実行委員会

### ■ 公共建築協会について

昭和43年、社団法人営繕協会として設立、平成5年に社団法人公共建築協会に改称し、平成24年一般社団法人に移行しました。

国や地方公共団体等の公共建築物の建築等の事業の合理化、能率化に寄与するとともに、公共建築物の建築に携わる技術者の技術水準の向上、地位の向上を図ることを目的として設立されました。

### ■ 主な事業

#### 1. 優れた公共建築を表彰(公共建築賞)

公共建築賞は、昭和63年に創設されました。現在、第18回の実施期間の年となっています。

#### 2. 知識の普及と情報提供

#### 3. 設計者情報の提供

公共建築設計者情報システム(PUBDIS)

#### 4. 建築材料・設備機材等の品質と性能を評価

建築材料・設備機材等性能評価事業

#### 5. 資格の認定

公共建築工事品質確保技術者(Ⅰ)(Ⅱ)資格試験

#### 6. 研究成果のフィードバック

詳しくは協会のホームページをご覧ください。

<http://www.pbaweb.jp/>



Public Buildings Association

一般社団法人

公共建築協会

### 第17回公共建築賞 東北地区受賞作品

#### □公共建築賞・優秀賞



住田町役場



はじまりの美術館



福島県国見町庁舎

#### □地域特別賞



仙台市地下鉄東西線 国際センター駅 青葉の風テラス



南陽市文化会館

# 豊かな暮らし、価値ある環境、 美しい国をデザインします

## 公益社団法人 日本建築家協会 (JIA)

「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベント実行委員会

### JIAとは

JIAとは日本建築家協会のことです。

JIAの建築家はクライアントや使われる方の思いを確実に捉えて最適の提案をすることをつねに心がけています。

JIAの建築家は機能的で安心安全な建築、環境配慮の行き届いた美しい建築を創り出すための研鑽を重ねています。

JIAの建築家は地域の歴史や文化、風土や環境を尊重し、コンパクトでエコなまちづくりを志しています。

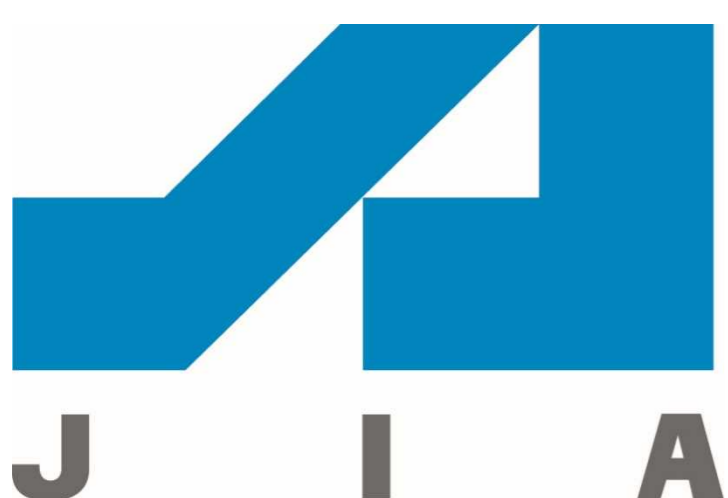
JIAの建築家は木質素材からAIまで新しい技術を果敢に取り入れて、社会の未来のあり方に積極的に関わっています。

JIAの建築家は地域に密着して信頼される人から、国際的に幅広く活躍する人まで多種多様です。

JIAの建築家は互いに連携することにより、仕事の質をさらに高める事業にも取り組んでいます。

JIAとは建築の設計やまちづくりを通じて社会に貢献しようとする建築家の集まりなのです。

詳しくは公式ホームページをごらんください。



The Japan Institute of Architects

公益社団法人 日本建築家協会

<http://www.jia.or.jp>

# 高度な技術と豊富な実務経験を有する構造技術者集団

一般社団法人 日本建築構造技術者協会（JSCA）

## 東日本大震災の経験から

日本建築構造技術者協会は東日本大震災発災直後から建物の応急危険度判定により建物の安全性について確認すると共に建物被害の調査を広範囲で実施しました。そして被害調査の結果を分析することで建物が地震時に「安全」であることに加えて、それまで以上に「安心」できる建物を造ることを目指して来ました。「安心」出来る建物とするために非構造部材（天井、外装、間仕切り壁、設備機器の転倒防止など）に対する安全性の向上について、東日本大震災前に比べてより高い知識・技術の向上を目指しています。

建物の骨組み〔構造〕はいつも安全でなければなりません。

安全なだけでなく〔あんしん〕できる建物を作りたいと、私たちの構造設計の専門家集団は、  
〔構造、あんしん。〕を心に刻み、その活動を広げています。

### 構造設計の専門家の団体

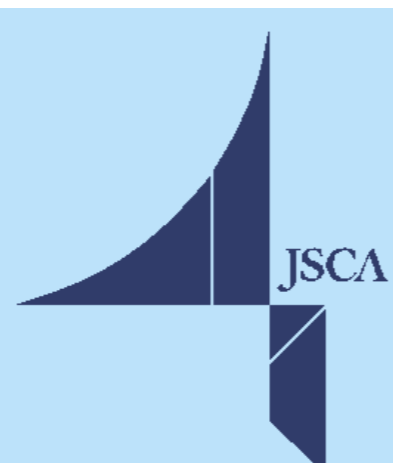
（一般社団法人）日本建築構造技術者団体（JSCA:Japan Structural Consultants Association）は、1989年に設立された、建築構造に関する高度な技術と豊富な実務経験を有する建築構造関連技術者の団体です。

その主な活動は、建築構造の設計・工事監理等に関する各種事業を通して、建物の質の向上に貢献する事を目的として、

- ・幅広い専門知識と豊富な経験及び高い倫理観を有するJSCA建築構造士（民間資格）の認定
- ・最新の知見や高度な構造技術を普及させるための構造技術関連各種シンポジウム・講演会の開催
- ・創造豊かな構造設計作品や優れた業績に対する「JSCA賞」の授与
- ・新しい技術や研究成果・協会活動などを掲載とした会誌「structure」の発行
- ・耐震技術・補強判定や構造レビューなどの各種技術評価
- ・大震災時の被害状況調査を始めとする復旧・復興支援活動

など、多岐にわたっています。

JSCAは求められる性能を満たし、快適で、地球にやさしく、安全・安心で長持ちする建物を提供していくことにより、社会の福祉増進及び文化の醸成に貢献する事をめざしています。



一般社団法人

日本建築構造技術者協会

Japan Structural Consultants Association

URL:<http://www.jsca.or.jp/>

# コストがわかれば 建築が見える！

公益社団法人 日本建築積算協会 (BSIJ)

「公共建築の日」及び「公共建築月間」関連イベント実行委員会

## 建築積算協会とは

日本で唯一の建築プロジェクトのコストマネジメントに携わる人々が集まった団体です。

建築コスト管理士、建築積算士、建築積算士補という資格認定および学校教育の人材育成事業を中心として社会に貢献する活動を展開しています。

## 積算協会が推進する3つの事業

### 1. 人材育成・認定事業

- ・ 学生から社会人まで、資格認定とキャリアアップを推進

### 2. 調査研究・情報発信事業

- ・ PCM (プロジェクト・コスト・マネジメント) を国内外で推進

### 3. 第三者評価評定相談事業

- ・ 建築コストの諸問題に対する相談事業を推進

## 「積女 ASSAL」のご紹介

積算・コストを中心とした建設産業で働く女性の交流の場づくり、女性のスキルアップの場づくりを提供しています。



行動力 — Action  
体 力 — Strength  
技術力 — Skill  
助言者 — Adviser  
女 性 — Lady



詳しくは協会のホームページをご覧ください。

<http://www.bsij.or.jp/>



公益社団法人 **日本建築積算協会**

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)

# 三戸警察署

～ 老朽化した警察署の移転改築 ～

【青森県総務部財産管理課】

**老朽化・狭隘化したことによる移転改築だけではなく、災害時でも機能維持ができるように整備しました。**

- ・ 行政窓口を1階に集中させ、一般来庁者が利用する部分と警察関係者が利用する部分は明確に分離し、動線がクロスしないように計画
- ・ 災害時における警察署の機能維持のため、直結・受水槽併用式給水を採用し、72時間運転可能とする非常用発電機を設置



警察署外観

## 【施設概要】

所在地：青森県三戸郡  
三戸町大字川守田

用途：庁舎（警察署）

構造：鉄筋コンクリート  
造3階建

附属建物：車庫  
署長指揮舎

延べ面積：2,369.95㎡

敷地面積：4,456.82㎡

完成年度：令和3年度



総合案内ホール



道場



# 平泉世界遺産ガイドンスセンター

～ 「平泉」の価値を広く世界に伝え、後世へ継承する～

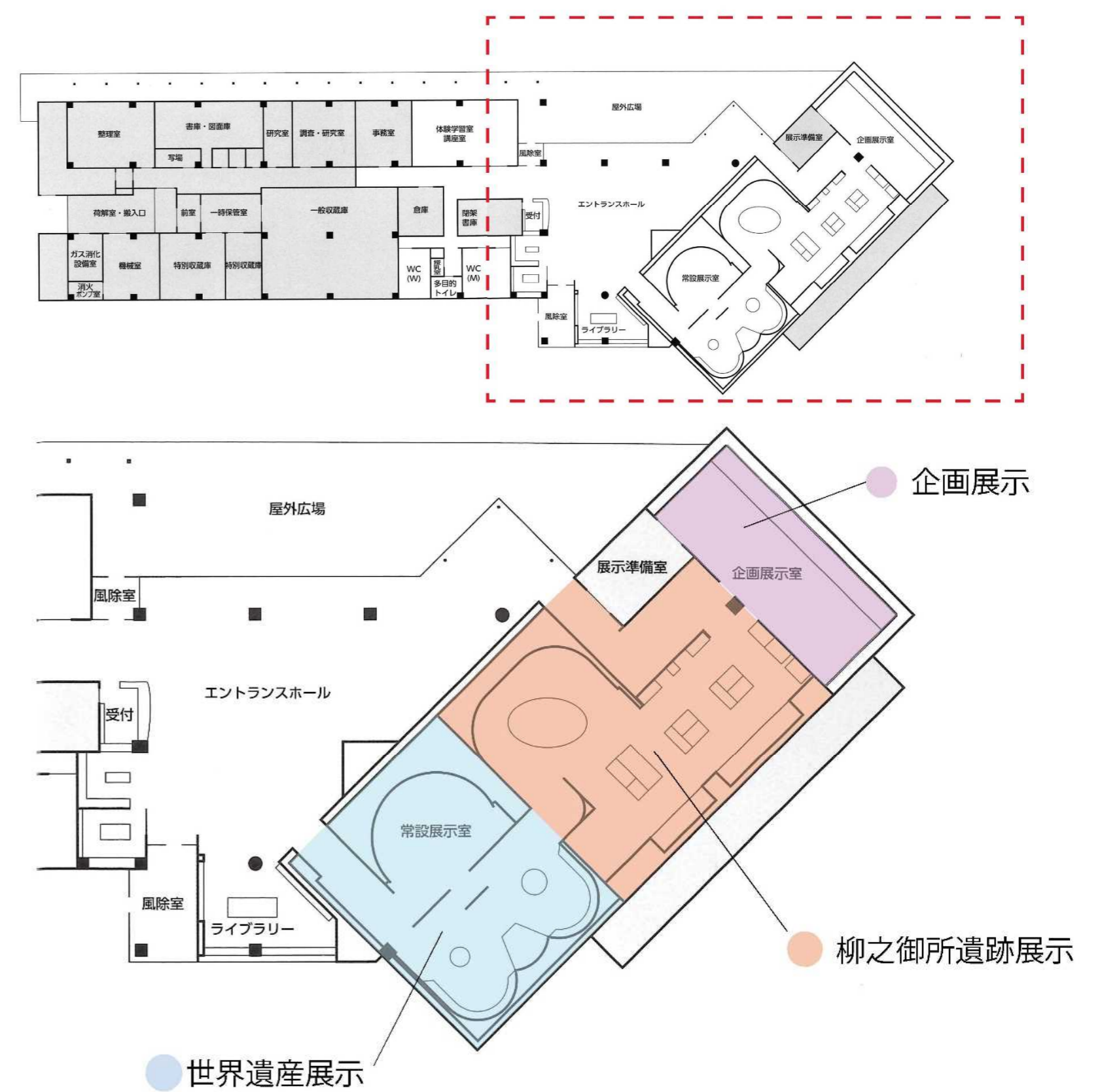
【岩手県 県土整備部 建築住宅課】

**「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類の共通の財産として後世へ継承するための拠点施設を整備しました。**

- ①世界中の人々が「平泉」の価値を理解できる、国際的な視野に立つ
- ②「平泉の文化遺産」周遊の出発点、構成資産を訪問する契機を提供
- ③柳之御所遺跡をはじめ「平泉の文化遺産」を後世へと継承
- ④平泉文化の多角的な調査・研究と研究者の交流の拠点
- ⑤世界遺産や文化財保護を主体的に学び活動する人材の育成に寄与



[ 施設外観 ]



[ 平面図 ]



[ 施設と構成資産 ]

構造：鉄筋コンクリート造  
階数：地上2階建  
延べ面積：2,424.74㎡  
完成年度：令和3年度



[ 常設展示場 ]

# 林業技術総合センター

～ 林業の普及指導を担うシンボリックな施設づくり ～

【宮城県土木部営繕課】

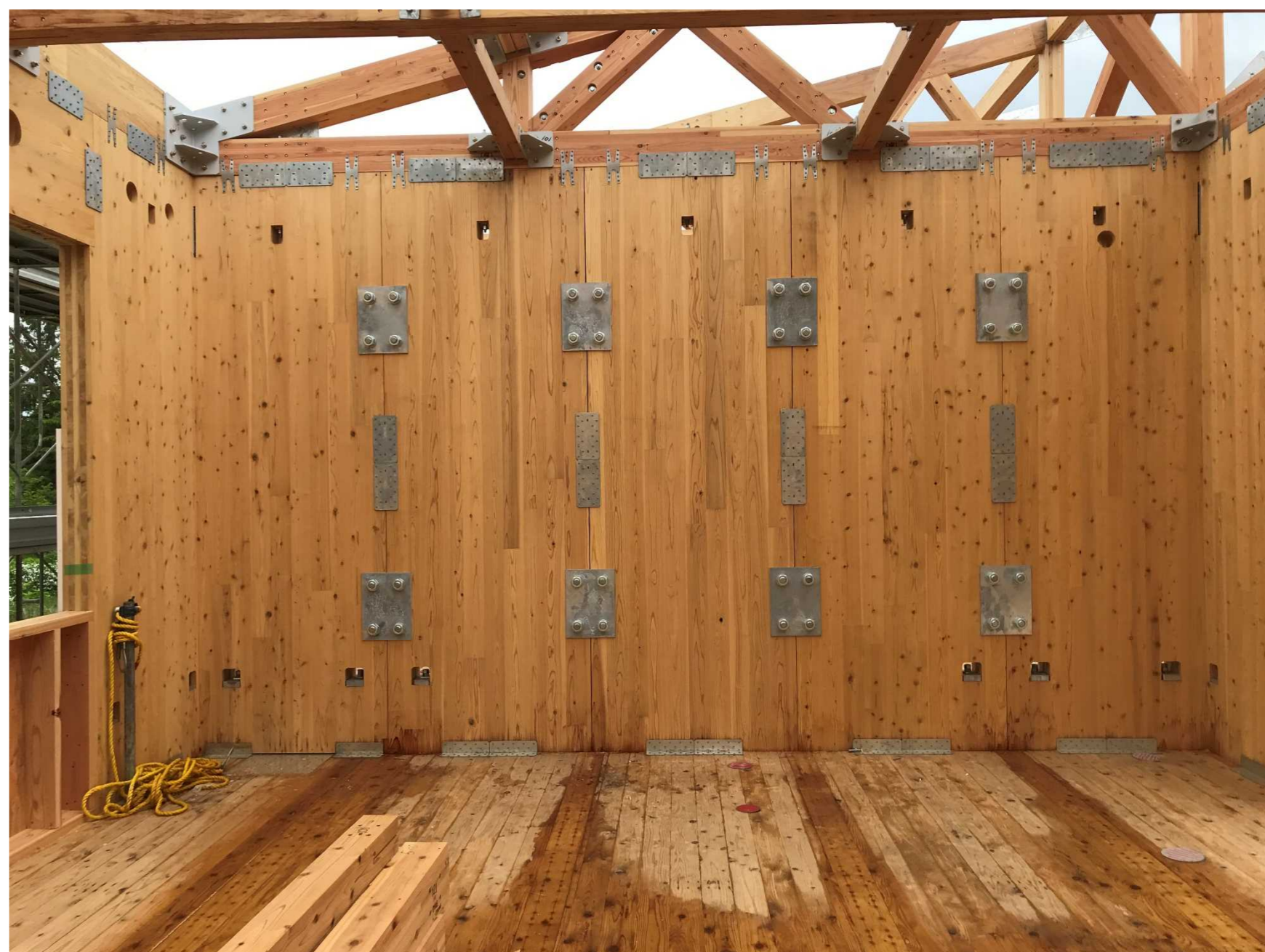
CLTパネルの新たな木材利用技術を導入して整備しました



## 【CLTの技術改良】

本施設は3棟により構成され、CLTの良さを活かしつつそれぞれに特徴を持たせた多様な構造方法としています。

また、実験、実証に裏付けされた小判CLTパネルの接合による大判パネル化技術、開口付きCLT耐力壁、CLT立体壁を取り入れて整備しております。

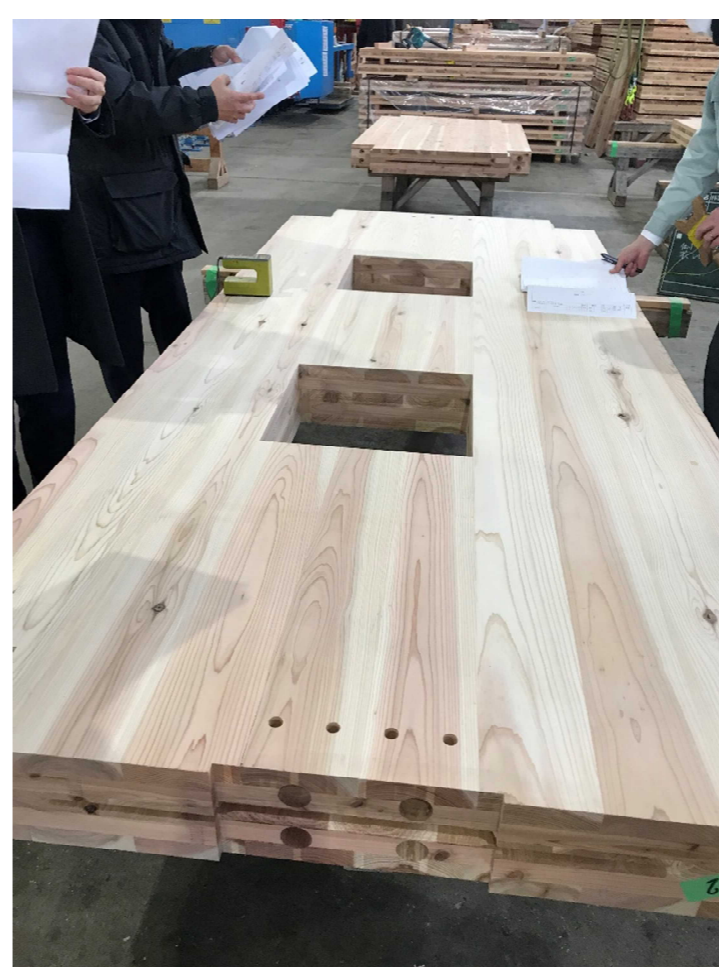


【小判CTLパネルの接合による大判パネル化】

## 【木材建築普及推進・地域林業活性化】

県の林業技術拠点施設の改築において、宮城県CLT等普及推進協議会と連携し、材料調達、生産加工、設計、施工を県内の技術者で取り組みました。

これまで大規模な木造建築の経験の少ない地方の設計事務所やゼネコンが大規模木造建築に触れる機会を創出し、非住宅分野における木造建築の普及促進するとともに、地域の林業、木材産業の活性化を試みました。



【開口付きCLT耐力壁】



【CLT立体壁】

構造：木造（CLT工法）、鉄骨造＋木造  
地上2階  
延べ面積：1,243㎡  
完成年度：令和3年度

# 特別史跡多賀城跡附寺跡構造復元展示棟

～ 古代建築の柱や梁などの骨組を復元 ～

【宮城県土木部営繕課】

「多賀城創建1300年記念事業」の一環で整備しました



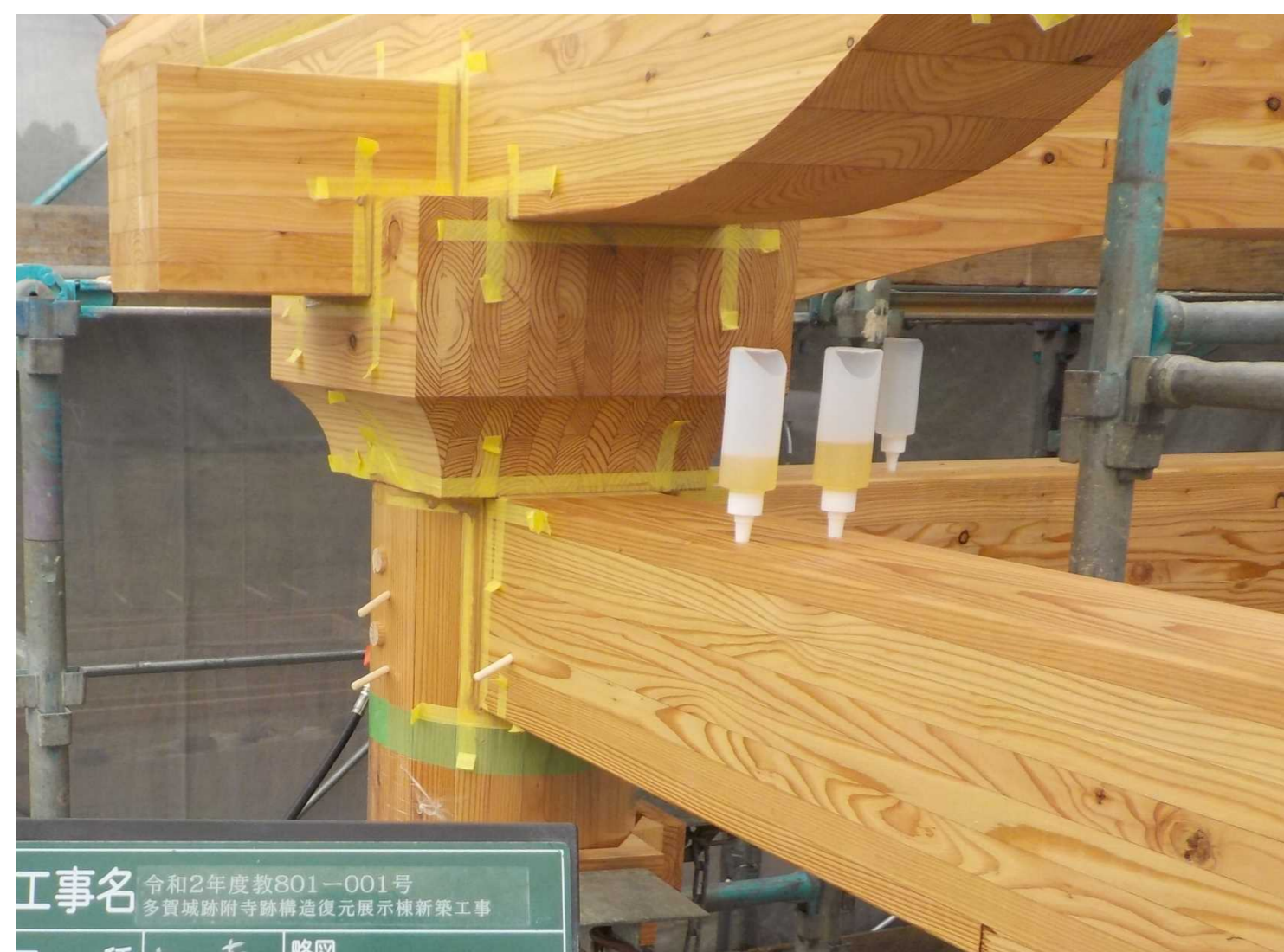
- 政庁南大路や城前官衙<sup>じょうまえかんが</sup>の建物などを再現する政庁南面地区の整備事業のうち、城前官衙の古代建築の構造部分を模した建物を整備したものです。
- 古代建築の構造を復元する特殊な事業のため、多賀城跡調査研究所の復元考察に基づき、同研究所と緊密に連携しながら整備しました。
- 接合金物が外部に露出しないGIR（グールドインロッド）工法を採用しています。



〔内観〕



〔雨落とし〕



〔GIR工法施工状況〕

構造：木造 平屋  
 延べ面積：169㎡  
 完成年度：令和3年度

※城前官衙：政庁の南側、政庁南大路の東側の丘陵上の官庁跡。

# あきた芸術劇場ミルハス

～ 秋田の文化芸術の創造拠点 ～

【秋田県 建設部 営繕課】

秋田県民会館と秋田市文化会館の機能を併せ持つ  
新たな文化施設を、県と秋田市で連携して整備しました。



【正面外観】

高い音響性能やステージ機能を併せ持ち、  
高揚感あふれる大ホール  
舞台芸術活動の拠点となる中ホール  
を備えた、秋田の文化芸術の創造拠点となる  
施設です。

所在地：秋田市千秋明徳町 地内  
構造規模：SRC造 一部 S造  
地下1階、地上6階  
建築面積：10,751.33㎡  
延べ面積：25,057.98㎡  
(文化施設：22,653.08㎡)  
(附属駐車場：2,404.90㎡)



【夜のミルハス】



【お堀に映るミルハス】



【広小路側から】



〔大ホール：高機能型ホール(2,007席)〕  
壁面の秋田杉の木レンガの凹凸により、豊かな響きが生み出される。

内装にはたくさんの県産材を使用、秋田の伝統工芸品を随所に散りばめ、秋田らしさを演出しています。



〔中ホール：舞台芸術型ホール(800席)〕  
組子細工のデザインを取り入れている。



〔エントランスロビー〕



〔大ホールホワイエ〕



〔小ホール〕  
劇場内に2つの小ホールを完備している。

# 山形県農業総合研究センター 園芸農業研究所 管理棟・研究棟

～県産木材を活用した大規模木造建築～

【山形県 県土整備部 建築住宅課】

県内産業の基盤である果樹・園芸の研究施設を整備しました。



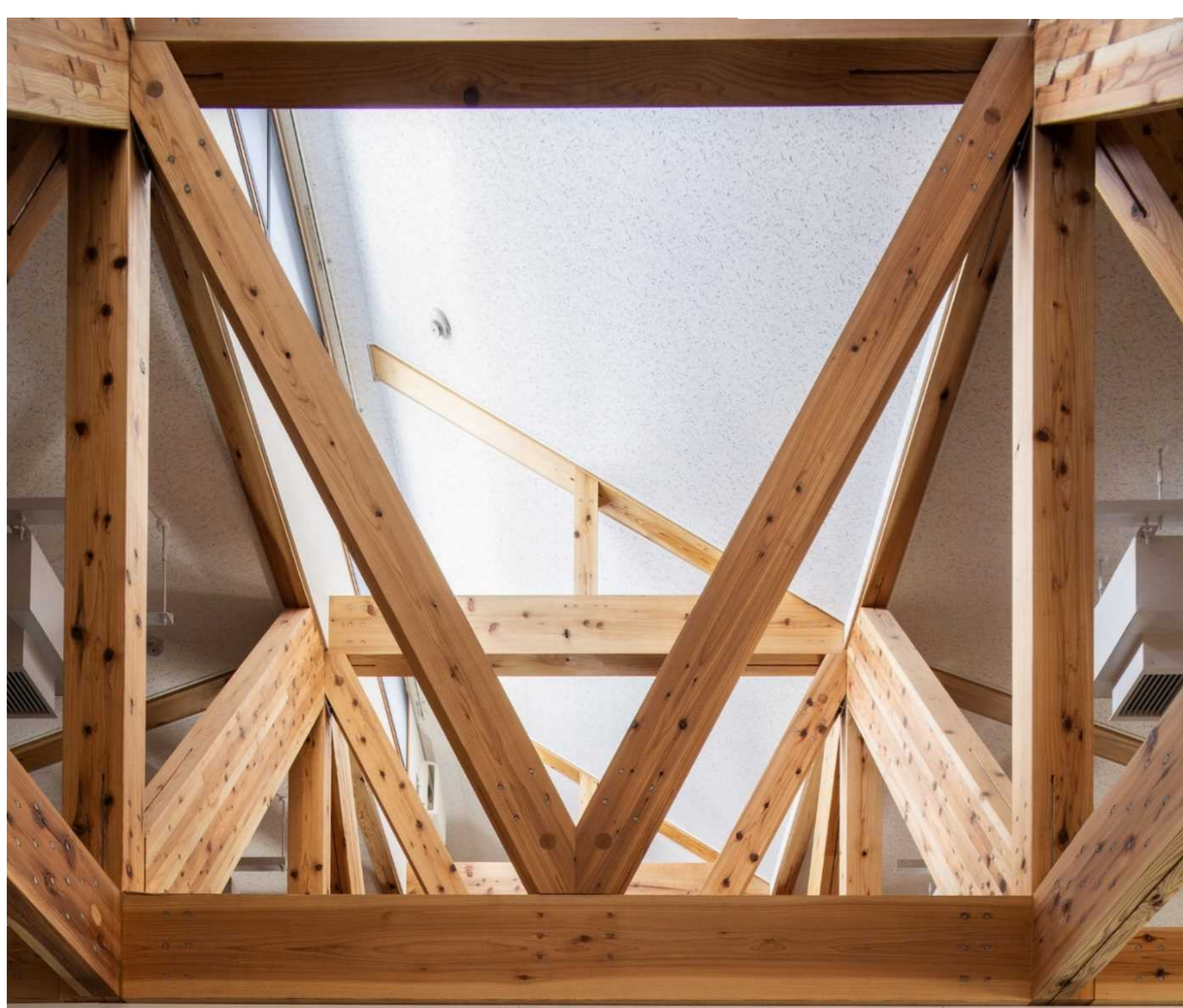
外観



廊下小屋組み

木材を活用することで地域環境への配慮、また、県産木材を使用することで地域経済の活性化に寄与しています。

会議室小屋組み



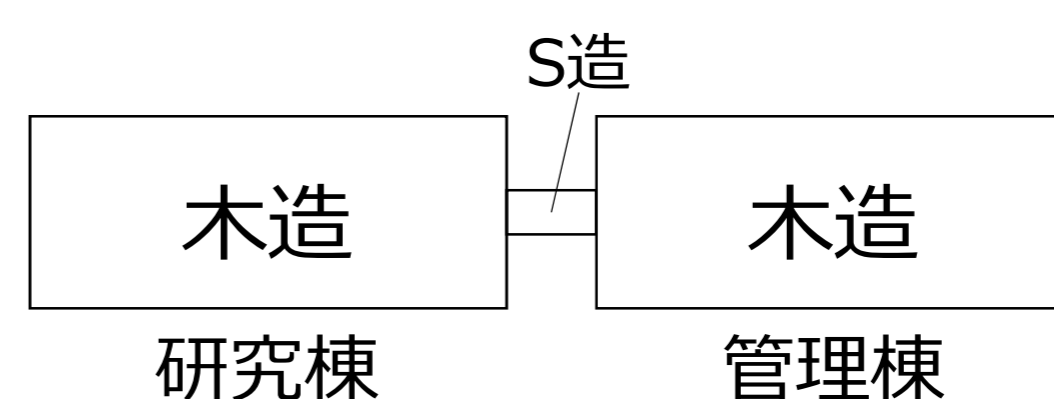
外観木材ルーバー



構造：木造 一部鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造  
地上2階建て

延べ面積：3,946㎡  
(管理棟：1,951㎡ 研究棟：1,995㎡)

工期：令和元年6月11日から令和2年3月13日



# 福島県立ふくしま医療センター こころの杜

～ 3次元モデル（BIM）を活用した工事 ～

【福島県 土木部 営繕課】

新しい技術である3次元モデル（BIM）の活用により、建築工事における生産性を向上させ、新病院を整備しました。



3次元モデル（BIM）においては、その視点の位置や向きを変えることで、外観や部屋内を事前に確認することができます。

今回工事では、資材の早期確認・発注や施工が複雑な箇所の先行確認に活用し、地域とつながる明るく開放的な病院を整備しました。



名称：福島県立ふくしま医療センター こころの杜  
場所：福島県西白河郡矢吹町滝八幡 地内  
用途：病院（精神科ほか） 148床  
構造：鉄骨造 地上4階/地下1階 建て  
延べ面積：13,760.55㎡  
完成：令和4年8月

# 仙臺緑彩館

～ 青葉山の風景に溶け込む公園施設 ～

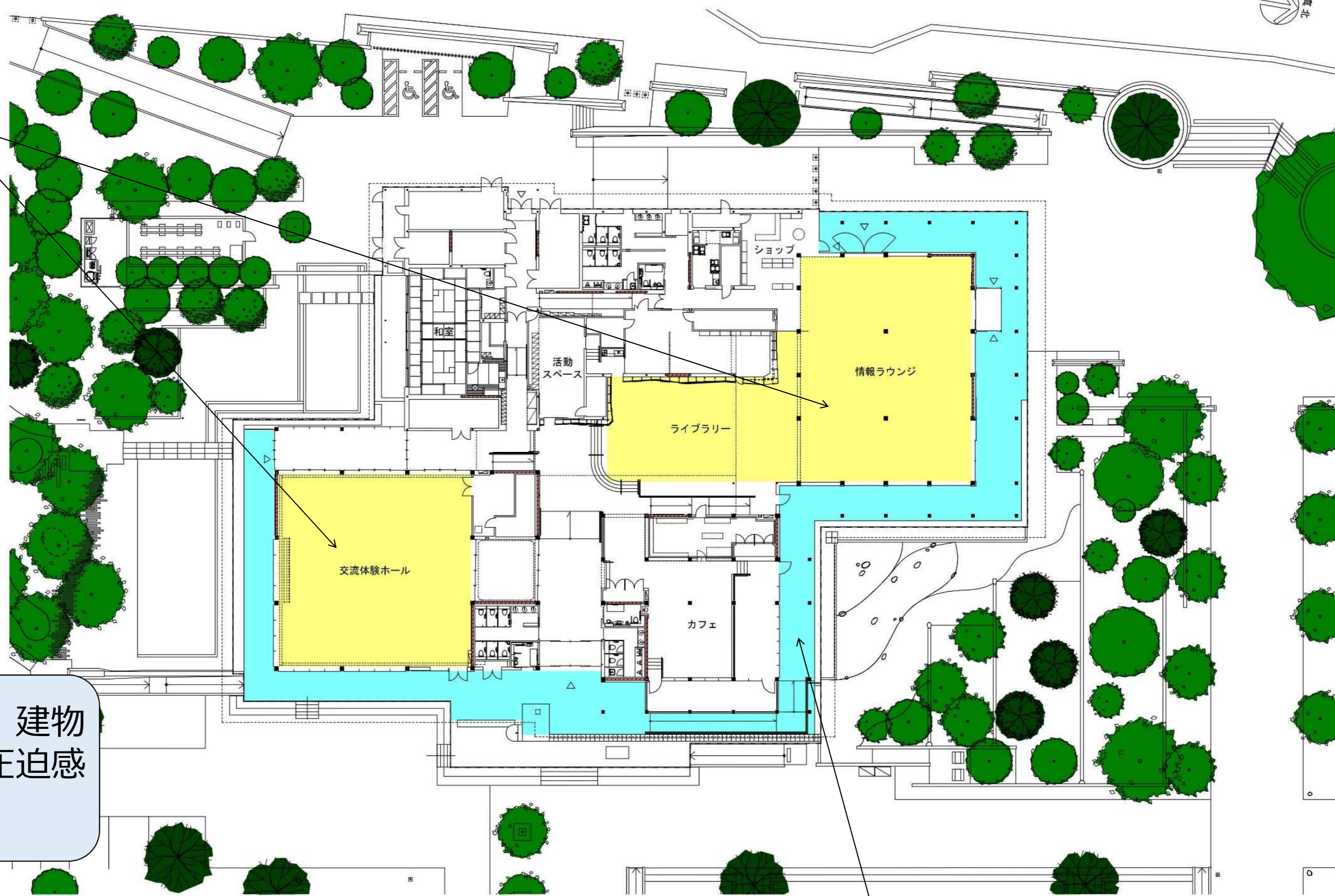
【仙台市都市整備局 営繕課】

片倉小十郎屋敷の柱割りや大空間を参考として広い回廊と折り重なる屋根を配置し、青葉山一帯の歴史的景観に配慮しました。

歴史・文化の情報発信や交流を行うための大空間

県産材を使用したCLT（直交集成板）の壁を各所に設置

折り重なる屋根により、建物のボリュームを分割し圧迫感を少なくしている



様々な角度から青葉山公園の景色を楽しむことができる回廊



【外観】

## 〈施設概要〉

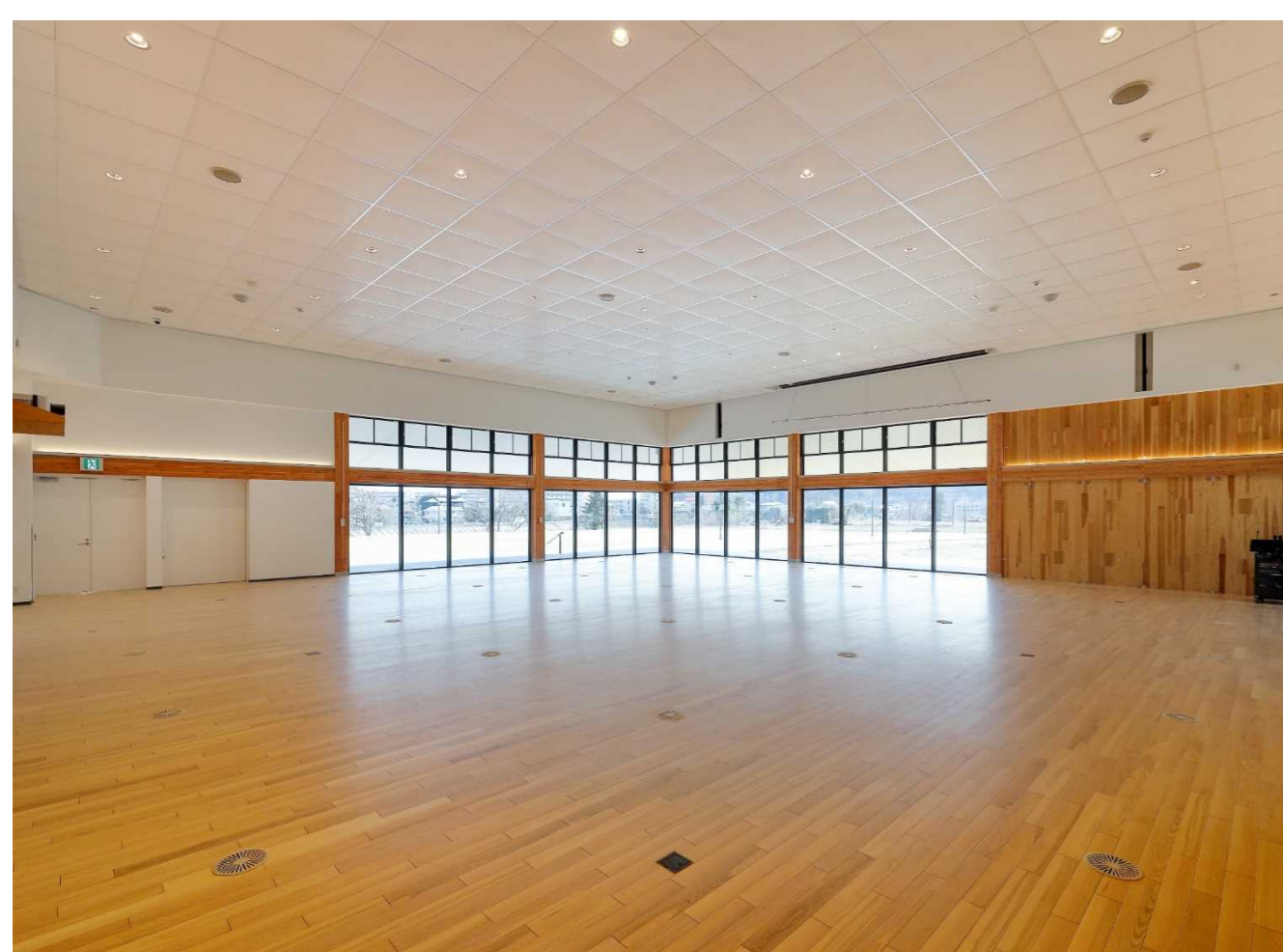
工事場所：仙台市青葉区川内追廻地内

構造：鉄骨造 地上1階

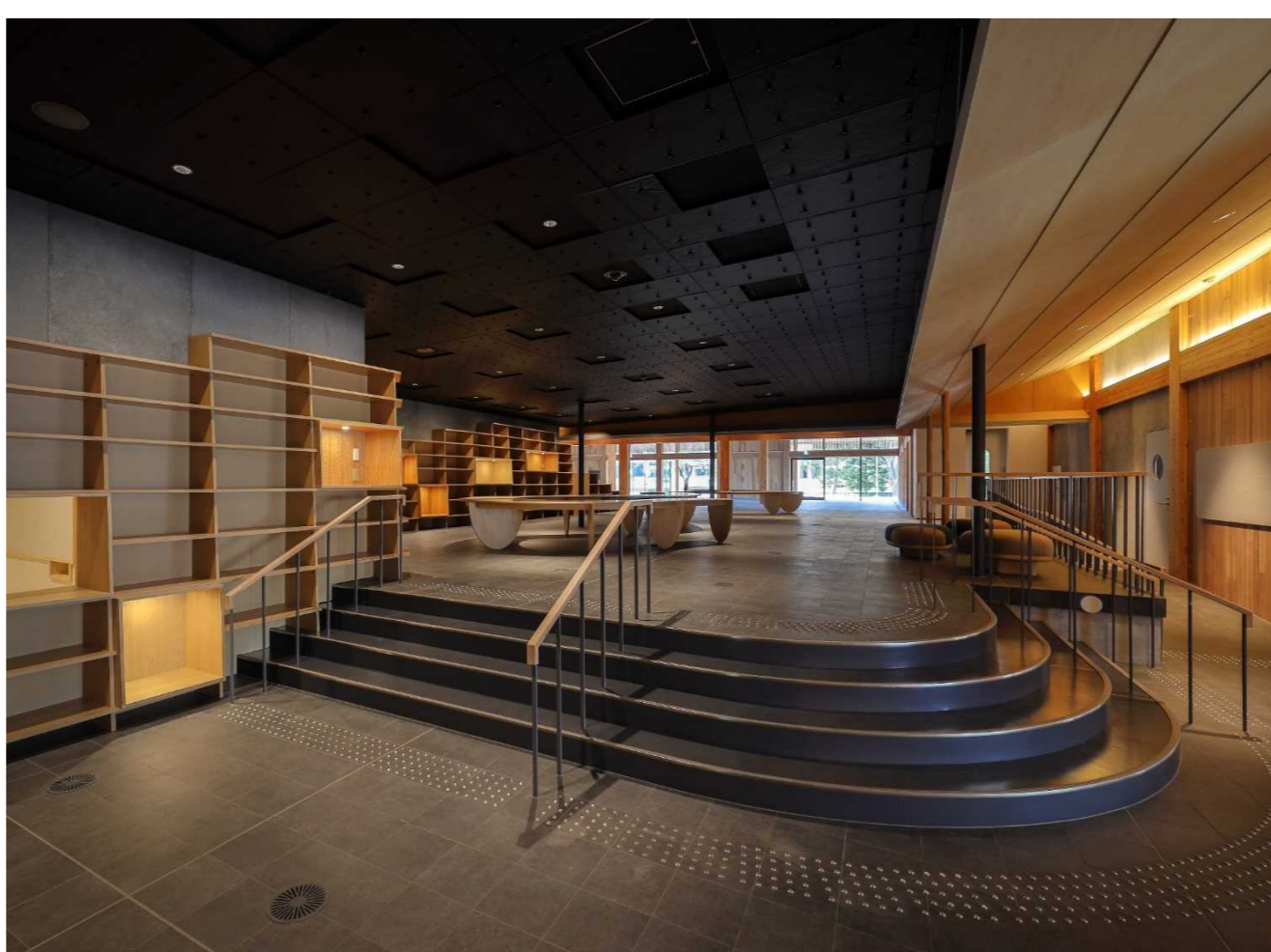
延べ面積：1,999.04㎡

完成年度：令和3年度

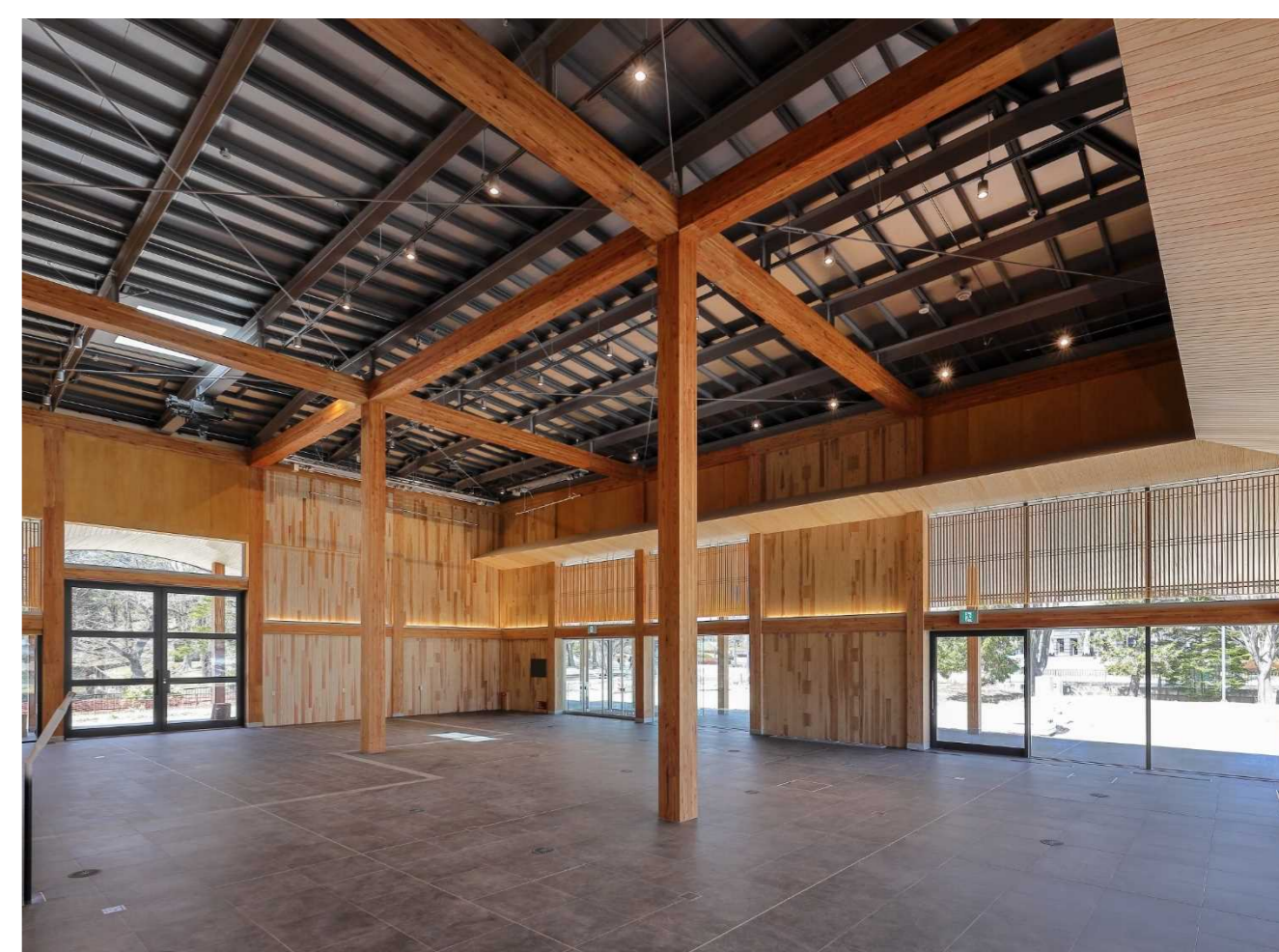
(R5.4.26開館予定／全国都市緑化仙台フェア開催初日)



【交流体験ホール】



【ライブラリー】



【情報ラウンジ】



# 鶴岡第2地方合同庁舎

～ 城下町・鶴岡の「人」と「歴史」と「文化」をつなぐ ～

【東北地方整備局 営繕部】

## 【設計概要】

### ■街並みと調和したデザイン

周辺住宅に配慮して建物の高さを抑えるとともに、外壁面のデザインに変化を持たせ圧迫感を抑えるなど、周辺景観と調和のとれた外観としています。

### ■「山の眺望」を意識させ、伝統意匠を継承

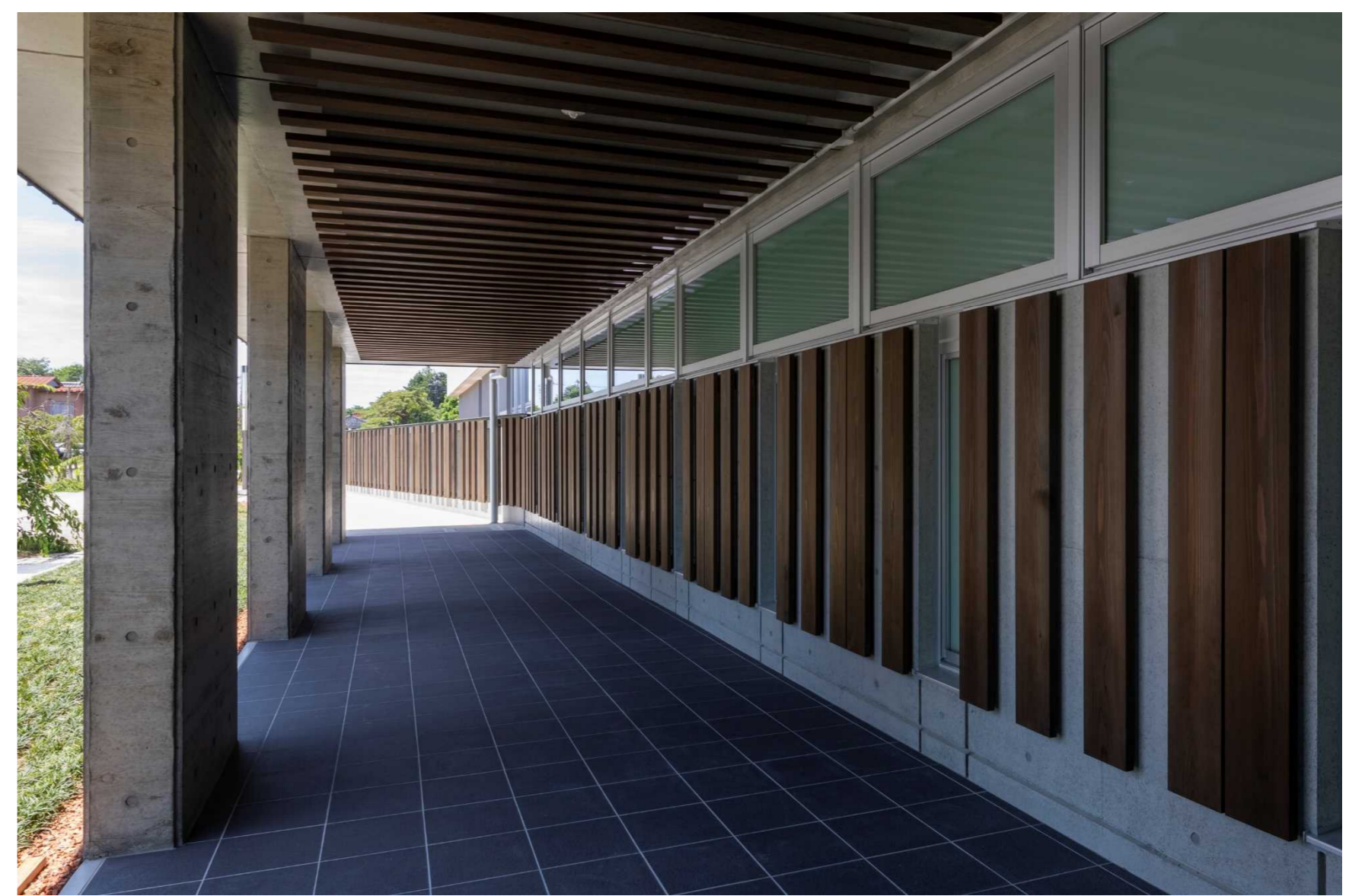
鶴岡市民が大切にしてきた「山の眺望」に配慮して、「きんぼうざん金峯山」「ほかりさん母狩山」「がっさん月山」を望むことができる2階南東に共用会議室を設置しています。また、外部の囲障には、現在も鶴岡の街並みに見られる「大和張り」による縦格子をモチーフとした板塀を設け、城下町の伝統形式や意匠を現代的に継承しています。

### ■「通り土間」によるオープンスペースの創出と地域貢献

近隣に所在する国指定重要文化財の旧風間家住宅「へいしん丙申堂」に見られる「通り土間」をモチーフとした廊下状の土間空間をオープンスペースとして設けています。その一角から市民の方々などが自由に利用できる休憩スペースや多目的トイレなどを設けた「ほっとスペース」を設置して居心地のよい空間を創出しています。



[庁舎南側外観]



[通り土間、板塀]



[ほっとスペース]

構造：鉄筋コンクリート造 地上3階建て  
延べ面積：3,490㎡  
完成年度：令和4年度  
入居官署：鶴岡税務署  
山形地方検察庁鶴岡支部・鶴岡区検察庁  
鶴岡公共職業安定所  
鶴岡市（防災倉庫）

# 秋田県警察学校・機動隊道場

～ 集約化・合理化を図った柔剣道場 ～

【東北地方整備局 営繕部】

## 【設計概要】

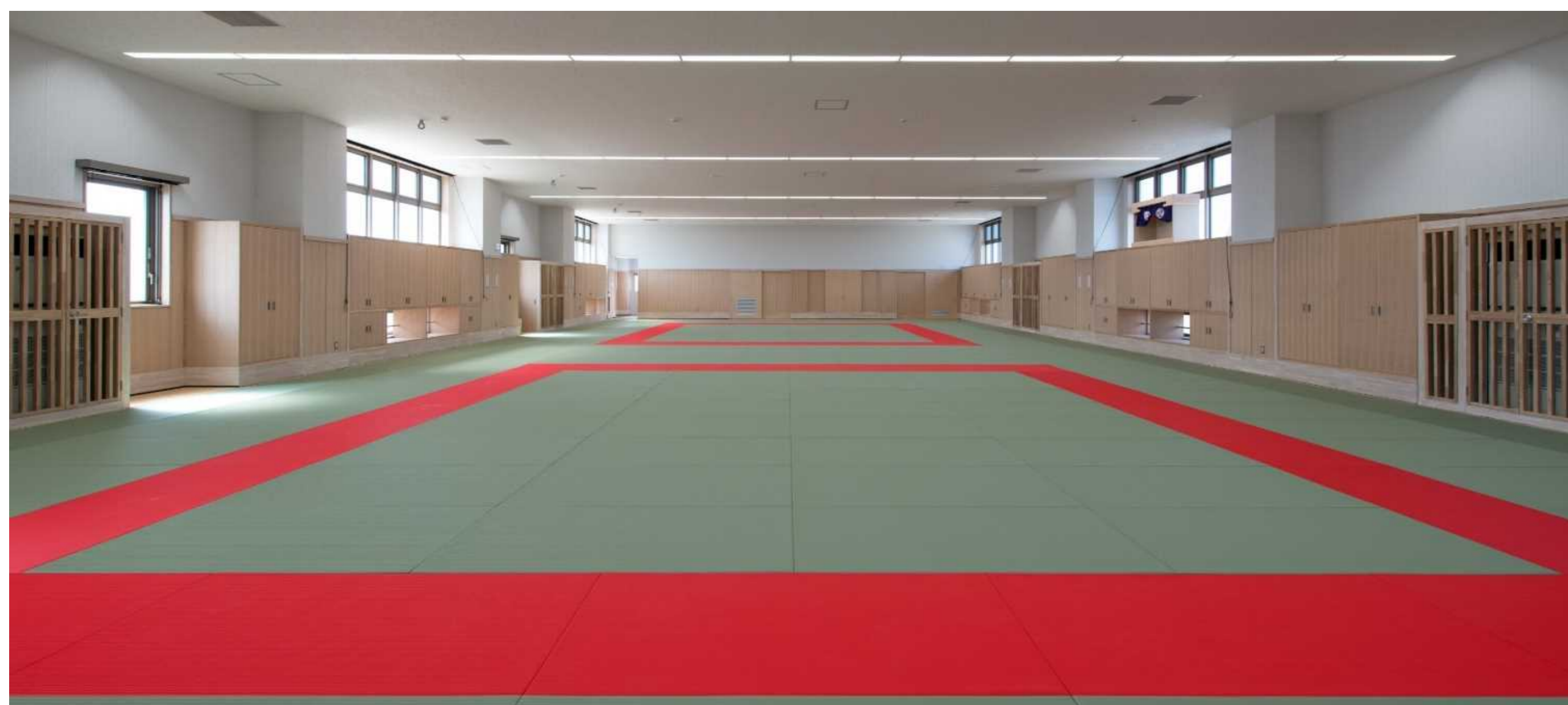
### （配置計画）

秋田県警察学校及び秋田県警察機動隊の両道場を敷地中央部分に集約化して整備したものです。敷地に高低差があることから、警察学校からの出入口を1階、機動隊からの出入口を2階とし、それぞれを渡り廊下で接続することで、双方の利便性を高めた配置としています。

### （平面・空間構成）

道場として大空間の実現と屋上での訓練を想定し、梁にはプレストレストコンクリート部材を使用し、16mの無柱空間を実現しています。

また、住宅地に面した西側に防具庫を配置すると共に、南北面の窓の大きさを必要最低限とすることで、道場での訓練時に発生する音が、住宅地へ与える影響を低減できるように配慮しています。



↑ [3階 柔道場]

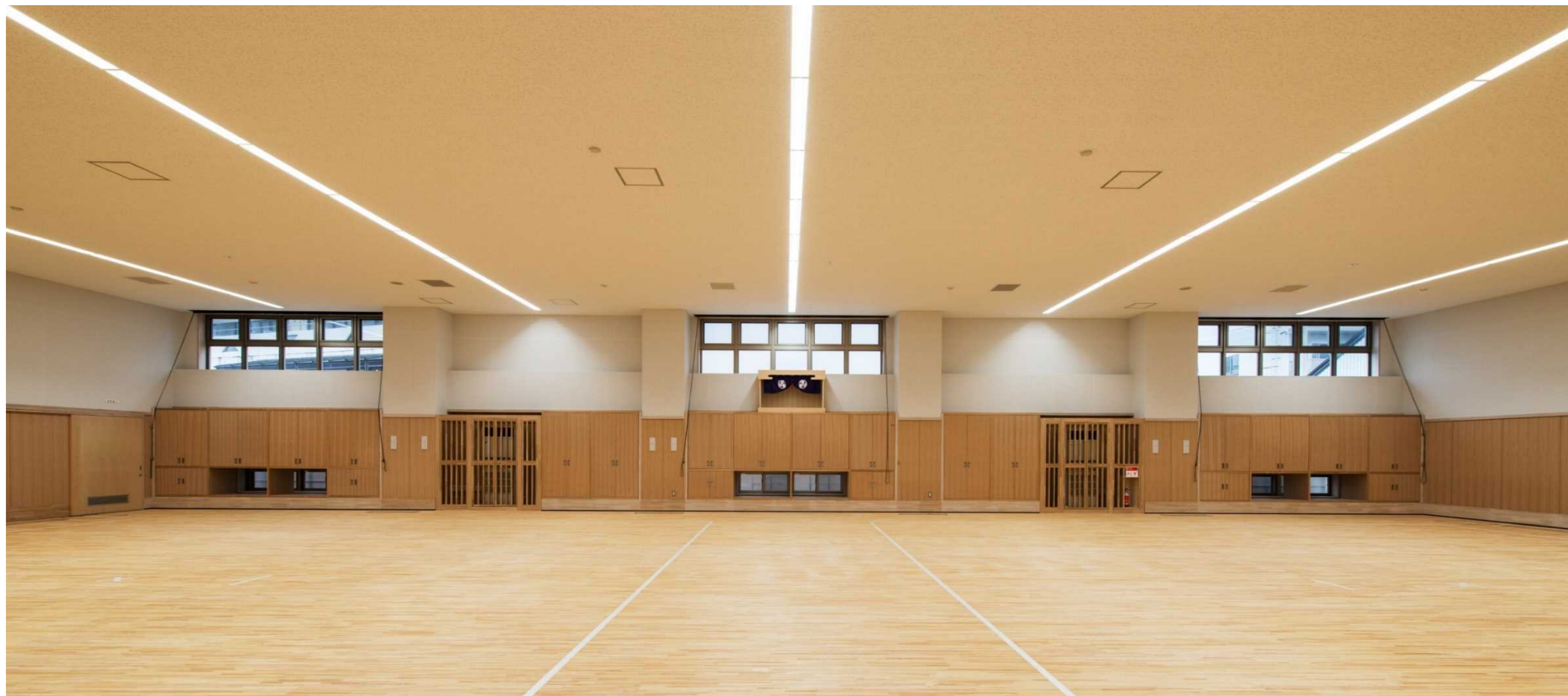
構造：鉄筋コンクリート造  
地上3階建

延べ面積：1,340㎡

完成年度：令和3年度

附属棟：渡り廊下

↓ [1階 剣道場]



# 会津森林管理署 南会津支署

～ 森林の管理経営に係る拠点の施設整備 ～

【東北地方整備局 営繕部】

## 【設計概要】

### （配置計画）

敷地中央に庁舎を配置し、南側を駐車スペース、北側を堆雪スペースとすることで、重機による効率的な除雪が可能な配置計画としています。また、玄関を年間最多風向の北西を避けた南側に設け、敷地入口からの視認性に配慮しました。

構造：木造平屋建

延べ面積：450㎡

完成年度：令和3年度

### （木材活用・多雪地域への配慮）

架構形式にCLTパネル工法を採用し、施工の簡易化・工期短縮を図っています。内装はCLTパネルを現しで活用するなど積極的に木質化し、木の温かみを感じられるよう配慮しました。また、地球温暖化防止に寄与するため、ペレットボイラーを床暖房熱源として採用し、化石燃料の使用を減らしています。

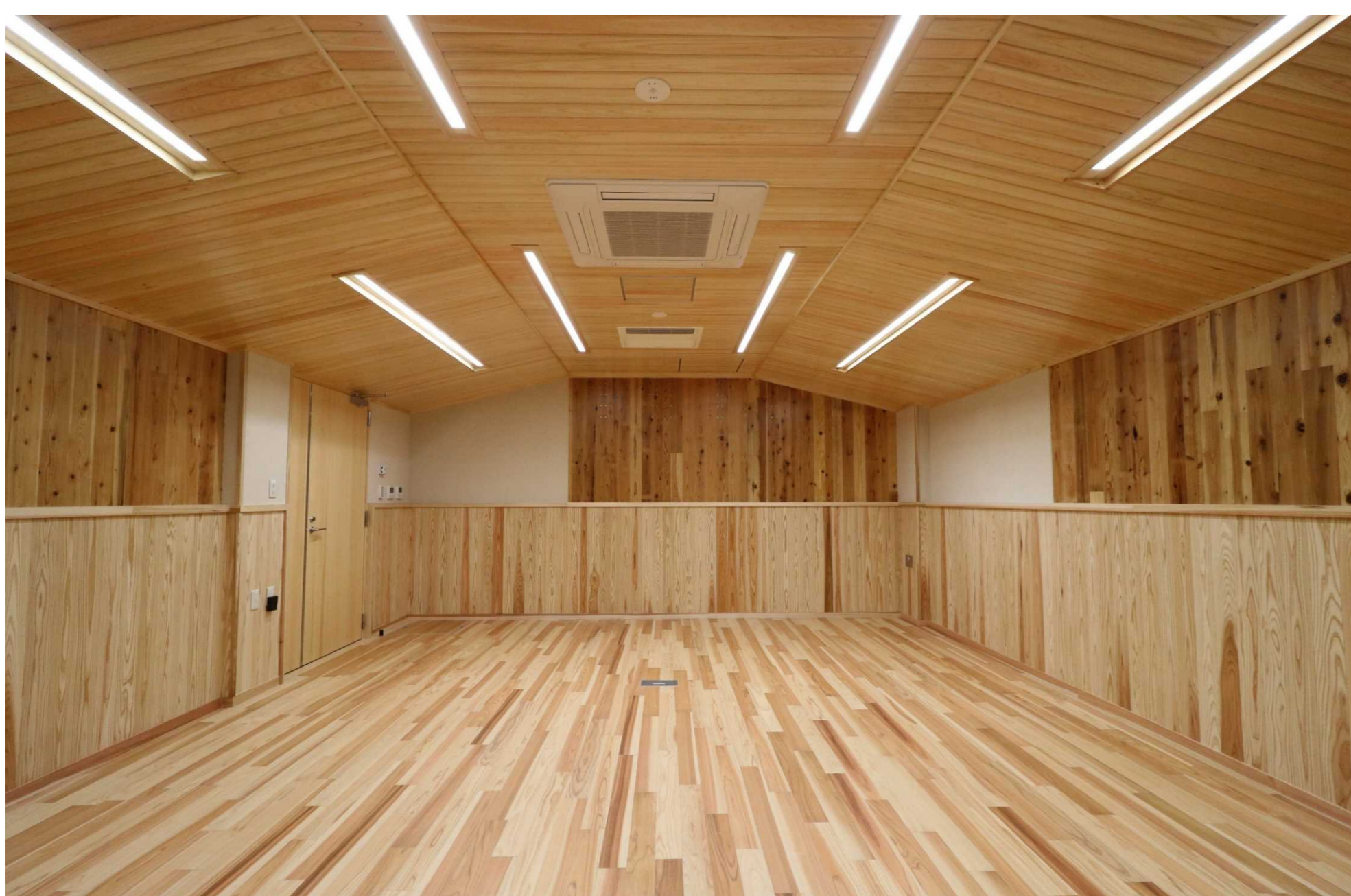
屋根は「への字形」の落雪屋根を採用し、主として北側の堆積スペースへ落とす計画とするなど、多雪地域における保全性に配慮した設計を行っています。



〔南側から庁舎を望む〕



〔南西側から庁舎を望む〕



〔積極的に木材活用した会議室〕



〔積極的に木材活用した玄関ホール〕

# 会津森林管理署 湯野上・田島合同森林事務所

～ 雪国の田園風景に建つ、ぬくもりを感じる森の番屋 ～

【東北地方整備局 営繕部】

## 【設計概要】

### （配置・外部計画）

庁舎を北側に配置し、南側に駐車・洗車スペースを確保すると共に、屋根の積雪に対しては北側への片流れ勾配として、自然落雪させる計画としています。

全体のデザインは、山間道路で見られる雪崩防止「洞門」のフォルムを意識し、北側の階高を極力抑えて勾配屋根の小屋組コストの縮減を図っています。また、軒先は雪庇による外装材破損を抑制することを目的として屋根端部の角度を変えることで落雪しやすくしています。

### （平面・空間構成）

冬季の季節風と夏季の西日を考慮して、南東側に事務室、西側には倉庫・車庫とする空間構成とし、この地域の特性に配慮した設計としています。



〔南西側から庁舎を望む〕

構造：木造 平屋建て

延べ面積：94㎡

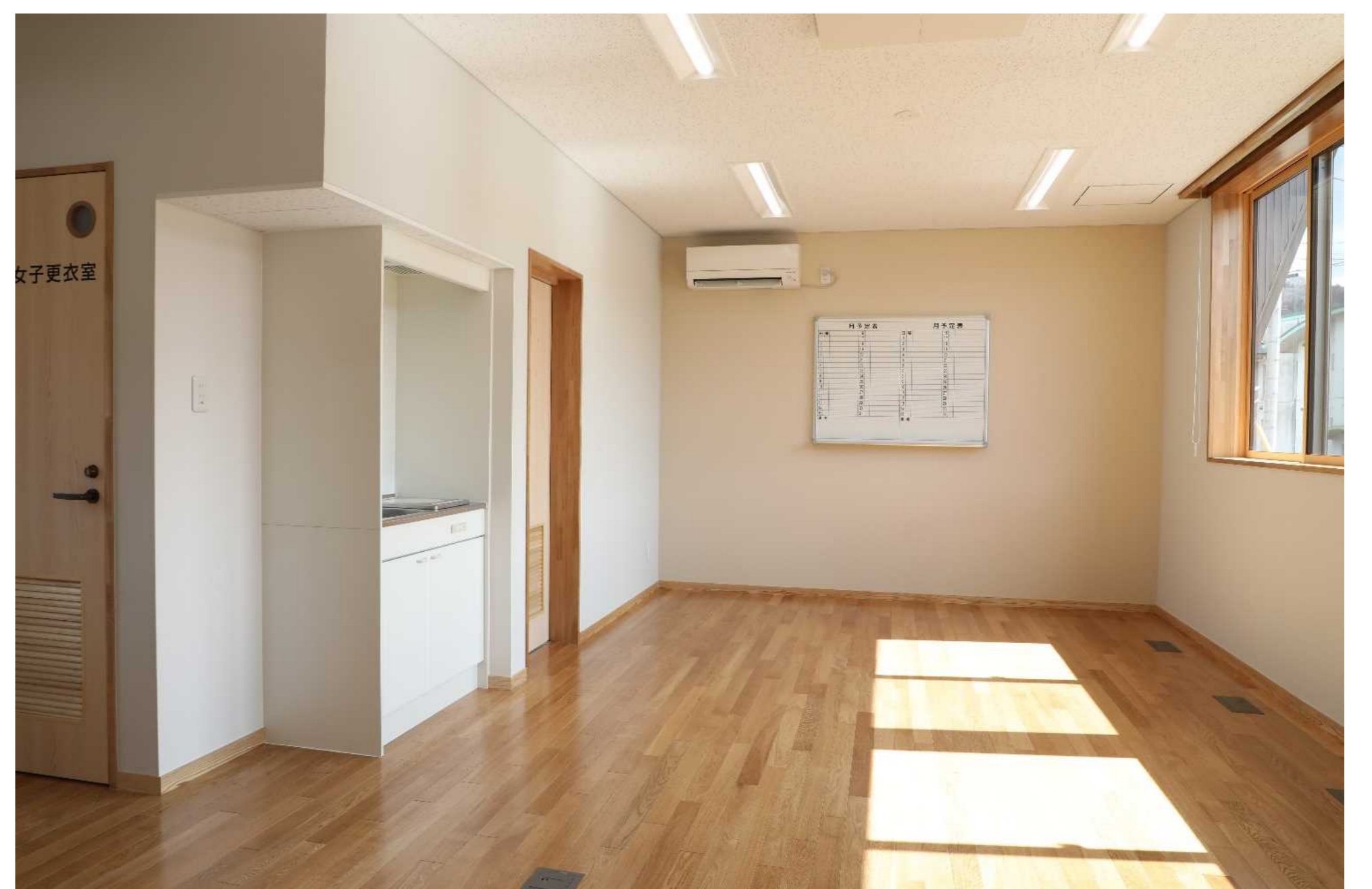
完成年度：令和3年度



〔洞門のフォルムを意識したデザイン〕



〔CLT材を使用した倉庫棚〕



〔南東に面した事務室〕